



ウェブサイトでも公開中

中国芝浦電子株式会社、山口銀行から寄付金を受贈

4月14日（月）、中国芝浦電子株式会社様が山口銀行様の「法人向け寄付型定期預金」を活用し、寄付先に本市をご指定いただいたことで、山口銀行様から20万円をご寄付いただきました。



▲記念撮影の様子（左から、山口銀行の小池専務、中国芝浦電子株式会社の河村代表取締役、市長）

市長は「心温まるご寄付をいただいたことにお礼を申し上げます。本年は新市発足から20年を迎える節目の年であり、中国芝浦電子株式会社様にもご尽力いただいた新本庁舎棟も無事完成し、5月7日から供用を開始する。いただいたご寄付については、本市総合計画に掲げる『ずっと元氣な山口』の実現に向けた諸施策

にしっかりと活用させていただく」と感謝の意を述べました。

閏総務課 ☎ 083・934・2908

山口県土地家屋調査士会と「災害時における支援協力に関する協定書」を締結

4月14日（月）、山口県土地家屋調査士会と本市が災害時における被災者への支援及び協力に関する協定を締結しました。



▲記念撮影の様子（山口県土地家屋調査士会の乗川会長（右）と市長）

締結にあたり、市長は「災害時にあって、被災された市民の皆様の土地や家屋に係る相談等にご協力いただくことは、被災された方の生活再建支援に確実につながるものと大いに期待して

いる。今回の協定締結を契機に、さまざまな災害に対応できる防災対策の取り組みをさらに充実させ『安全安心のまちづくり』の実現に一層努める」とあいさつしました。

本協定をもとに、災害発生時には、必要に応じ、被災者からの土地・家屋に係る相談窓口の開設等を行う予定です。

閏防災危機管理課 ☎ 083・934・2723

山口市地域おこし協力隊着任式を開催

本市では、都市圏在住者等を「地域おこし協力隊」として任用し、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこし活動を行いながら、協力隊の定住・定着を図ることを目的とした取り組みを進めています。

このたび、徳地地域において「徳地地域の振興作物等の情報発信、栽培技術の習得」をテーマに活動する宇野貴之さんと世良舞奈さんが着任されることから、4月16日（水）に着任式を行いました。

市長は「これから作物栽培の基礎を学びながら、これまでの経験から得たさまざまな知識やスキルを存分に生かし、新しい発想で徳地地域の振興作物等の情報発信に積極的に取り組みんでいただきたい。お二人の活

動が、徳地で暮らしたい、あるいは故郷に戻りたい、移住したいと考えるすべての方々を後押ししてくれる存在となることを期待している」とあいさつしました。



▲記念撮影の様子（左から、市長、世良さん、宇野さん）

宇野さんは「地域おこし協力隊として、与えられたミッションや問題・課題に対して、心折れることなくチャレンジしていきたい」、世良さんは「徳地の農業の魅力を私自身が発見して、皆さんに発信していけるよう頑張りたい」と今後の抱負を述べられました。

閏徳地農林振興事務所 ☎ 0835・52・1115

「第30回中原中也賞」贈呈式を開催

4月29日（火・祝）、現代詩人の登竜門とされる第30回中原中也賞贈呈式を、湯田温泉ユウベルホテル

松政で行いました。同賞は中也の業績の顕彰を目的に1995年に創設し、今回は全国から247点の応募・推薦の中から、高村而葉さんの詩集『生きているものはいつも赤い』が受賞されました。



▲市長（左）から賞状（山口萩焼の陶板）を受け取る高村さん（右）

受賞者の高村さんは「自分が信じられるまで手を離さなかった言葉が、誰かにとって良いものとなることを願っています。長い間見守ってくださった皆様に心から感謝を申し上げます」と述べられました。

市長は「この詩集は2005年から2023年に手掛けられた22篇の詩を収録した第一詩集とのこと、大変な御努力の19年間だったのではないかと思います。この賞をさらなる飛躍への一歩として、今後も精力的に、詩作に取り組まれますよう、心から期待します」と激励しました。

2723

令和7年春の叙勲・褒章および第44回危険業務従事者叙勲受章者

春の叙勲・褒章および危険業務従事者叙勲を、市内の29人および1団体の方が受章されました。

受章された方は次の通りです。※（ ）内は功績、年齢、主要経歴（敬称略）

☎ 総務課 ☎ 083-934-2908

旭日双光章 田中勇（地方自治功労77元山口市議会議員）

旭日单光章 坂井清美（スポーツ振興功労76元（一社）山口県柔道協会副会長）

瑞宝中綬章 小川全夫（教育研究功労81九州大学名誉教授）／藤部秀則（地方自治功労72元山口県副知事）

瑞宝小綬章 十河悟（教育功労71元公立高等学校校長）／藤井哲男（地方自治功労71元山口県総合企画部長）

瑞宝双光章 田中豊弐（厚生労働行政事務功労80元厚生労働省労働基準局労働補償部補償課労働保険審理室長）／平井直實（警察功労82元山口県事務吏員）／本廣正則（地方自治功労76元下関市副市長）／小田二郎（消防功労65元山口市消防監）／西坂章士（警察功労75元山口県警部）／西村隆男（警察功労74元警視正）／橋永良文（警察功労74元山口県警部）／松原治司（警察功労74元山口県警部）／森山勝美（警察功労74元山口県警部）／山本洋行（防衛功労61元3等陸佐）

瑞宝单光章 河村吉人（消防功労73元山口市消防団分団長）／鈴木庸徳（警察功労84元警察庁技官）／藤本教一（消防功労76元山口市消防団分団長）／伊藤勝裕（防衛功労61元3等空尉）／河村直樹（防衛功労61元3等陸尉）／藏田一彦（防衛功労62元准陸尉）／西川修治（警察功労75元山口県警視）／藤本厚志（矯正業務功労65元法務事務官）／松本政男（警察功労74元山口県警部補）／森川茂生（警察功労74元山口県警部）／吉本光雄（防衛功労72元准陸尉）／渡邊孝太郎（警察功労74元山口県警部補）

緑綬褒章 さやま蟻の会（社会奉仕活動功績現地域交流支援活動奉仕団体）

藍綬褒章 寺内毅一郎（社会福祉功績82現民生・児童委員）

表紙の写真

SLが走る日常

表紙の写真は、新山口駅を出発し、津和野駅へ向かうSLやまぐち号の様子です。

JR山口線は、令和5年に新山口駅から益田駅までの全線が開通して100周年を迎えました。また、本年3月には、山陽新幹線が新大阪・博多間の全線開通から50周年を迎えるなど、小郡地域は、鉄道や他の公共交通とともに山口県の陸の玄関として、発展を続けています。

中でもSLやまぐち号は、市民の日常生活を支える移動手段としての役割のみならず、力強く走るその姿は、市内外の多くの観光客をも惹きつけています。現在まで大切に保存されてきた「SLやまぐち号が走る日常」は、市民の皆さんにとっても、文化や美しい景観といった私たちの暮らしが持つ魅力を再認識させてくれる存在なのかもしれません。

☎ 広報広聴課 ☎ 083・934・2753



▲出発式には多くのSLやまぐち号ファンが詰めかけました。